

エフ・イー

大根洗浄機等を実演

日本商工会議所会頭など視察

日本商工会議所の岡村——佐々木通彦社長、北正会頭、中村利雄専務理事 北海道旭川市工業団地3条 事が7月6日、エフ・イー21212711を訪問。自



岡村会頭に説明する佐々木社長

動皮むき装置や大根洗浄機の視察をした。

岡村会頭が兼ねてから農商工連携に高い関心を持っていることから、旭川市内で開かれた商工会議

所全道大会に出席する前に立ち寄ったもの。工場内を眺めた後、実際に洗浄機が稼働する様子を見学。佐々木社長の説明に

「感動の声を上げた。自動皮むき機は、独自の丸型ドラムピローと多角形ドラムピローをオリジナルのノウハウで組み合わせ、様々なサイズの原料を躍らせながら皮をむく。用途に応じて

乾式または水洗式を選ぶことができ、幅広い使い方が可能。じゃがいも、ニンジン、里芋などいろいろな品種に対応し、うすく・キレイに・優し

い」手むきに近い仕上がりを実現させた。こうした点が評価され、2012年第4回日本ものづくり日本大賞・優秀賞を受賞している。一方の大根洗浄機「HFURC」シリーズは、葉の付いた大根の洗浄を可能にした画期的な機械

として全国から問い合わせが寄せられている注目機。最大の特徴は「水の膜」で汚れを落とす点だ。一束毎に植毛されたブラシは、毛細管現象によりブラシ全体に保水し回転を与えることにより、斜め植毛と相まってブラシ先端に水膜を作る。この水膜によりブラシが野菜表面に直接触れるのを防ぎ、表面を傷つけずに洗浄することが可能。大根本体はもちろん、一本一本の葉部もきれいにすることを実現した。

最近では、コンパクトで低価格の「3S」を開発。小規模向け「S型」、中規模「S型」、大規模「W型」など幅広いニーズに対応すべくラインナップを充実させた。

デモ実演後には、以前情報番組に取り上げられた映像を披露しながら「シンブル イズ ベスト」という佐々木社長のモノづくりへの理念や取り組み、海外進出への考えなどを説明。「小さな企業でもアイデア一つで北海道だけでなく、全国で喜ばれる製品ができる」の言葉に、岡村会頭

は頷いていた。